

## 鴨川市学校給食センター運営委員名簿

◎1号委員(給食を受ける小学校、中学校及び認定こども園のPTAが推薦する者)

氏名	職名	新任・継続の別
カワカミ トシフミ 河上 俊文	鴨川市公立学校PTA連絡協議会会長(前鴨川小)	新任
アイカワ ユウキ 相川 優希	鴨川市公立学校PTA連絡協議会母親代表(鴨川小)	新任
オノ ミユキ 小野 美由紀	鴨川市公立学校PTA連絡協議会母親代表(江見小)	新任

◎2号委員(識見を有する者)

氏名	職名	新任・継続の別
コダマ カズヨ 児玉 一世	安房健康福祉センター副センター長	継続
コヤマ テルユキ 小山 照幸	市立国保病院病院長	新任

\*運営協力委員(給食を受ける小学校、中学校及び認定こども園の長)

氏名	職名	新任・継続の別
ショウジ ヨシヒロ 庄司 義広	安房東中学校校長	継続
ギドウ トシフミ 義道 俊文	鴨川小学校校長	新任

(委嘱期間:令和3年6月1日～令和5年5月31日)

# 資料 1

## 1 学校給食センターの概要

鴨川市における学校給食の沿革については、昭和42年12月に鴨川町学校給食が開始された。昭和46年3月に江見町、長狭町及び鴨川町の合併に伴い市施行により名称を「鴨川市学校給食センター」とする。昭和47年1月第二調理場が完成し、同月、長狭、江見地区にも給食を開始する。施設の老朽化に伴い平成13年6月に調理場の改築工事に着手し、同年12月鉄骨造2階建てのドライシステム方式の調理場が完成した。

平成17年2月に、天津小湊町との合併により、鴨川共同調理場、天津共同調理場、小湊小学校調理場の3調理場を有し、名称を「鴨川市学校給食センター」とした。

平成19年6月に調理場の統合に伴う増築工事に着手し、同年8月に完成した。

平成20年4月から施設統合による給食開始となった。

平成31年4月から調理及び配送業務を、民間事業者へ委託開始。

## 2 施設のあらまし

- (1) 運用開始 平成14年1月8日
- (2) 調理能力 3,500食
- (3) 施設規模 764.78㎡
- (4) 給食形態 完全給食（主食・副食・牛乳）  
ごはん（月・水・金） パン（火・木）
- (5) 給食数

(R3.5.1)

区 分	校 数	食 数	備 考
認定こども園	3園	225食	アワーズ含める。
小 学 校	7校	1,195食	
中 学 校	3校	668食	
安房特別支援学校	1校	21食	
教職員等		270食	
計	14校	2,379食	

- (6) 配送車 5台

- (7) 職員数

区 分	人 数	備 考
所 長	1名	
事務員	2名	うち会計年度任用職員1名
技能員	1名	
栄養士	2名	

- (8) 調理及び配送業務委託

令和元年度から3年間、株式会社東洋食品が業務を行います。

(今年度最終年度)

## 令和3年度 業務計画

### 学校給食センター

項目	令和3年 1学期				8月	2学期				令和4年 3学期		
	4月	5月	6月	7月		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校給食	7 (水)			20 (火)		1 (水)			23 (木)	7 (金)		23 (水)
	← 70 →					← 78 →				← 50 →		
	各学校が受けることのできる給食日数は195日											
給食参観		21	11	7		15	24	30	13	10	18	1
		安房東中	天津小湊小	田原小		アワーズ	長狭中	江見小	鴨川中			
		給食センター職員と給食を受ける児童等が交流を図る。				田原こ	長狭小	東条小				
										20	28	17
										西条小	鴨川小	25
										特別支援	鴨川こ	
食指導の実践予定	← →											
	栄養士による、食べ物を中心とした栄養に関する指導。											
学校給食主任者会議		○									○	
	給食の実施に伴い各学校や給食センターとの意見交換の場											
学校給食センター運営委員会				○							○	
				事業計画、民間委託等							民間委託報告	
	学校給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため、教育委員会の諮問機関として設置。											

## 令和2年度学校給食センター決算

## 歳入

款	項	目	節	細節	予算額	調定額	収入額	収入未済額	収納率
諸収入	雑入	雑入	給食事業収入		135,541,000	118,689,994	106,755,844	11,934,150	89.71
				現年度分	132,255,000	104,320,006	103,665,811	654,195	99.37
				滞納分	81,000	11,673,881	393,926	11,279,955	3.37
				調理費	3,205,000	2,696,107	2,696,107	0	100.00

## 歳出

款	項	目	事業	節	細節	予算額	決算額	差引額		
教育費	保健体育費	学校給食費	職員人件費 (給食センター)			24,422,000	24,111,597	310,403		
				給料		13,359,000	13,308,834	50,166		
				職員手当等		6,939,000	6,837,687	101,313		
				共済費		4,124,000	3,965,076	158,924		
			給食センター事務費					73,751,000	73,558,828	192,172
				報酬				1,349,000	1,348,650	350
				職員手当等				108,000	107,299	701
				旅費	費用弁償			73,000	71,162	1,838
				需用費				1,000,000	938,971	61,029
					消耗品費			1,000,000	938,971	61,029
					印刷製本費			0	0	0
				役務費				1,115,000	1,014,193	100,807
					通信運搬費			164,000	149,137	14,863
					手数料			951,000	865,056	85,944
				委託料				69,865,000	69,857,261	7,739
				使用料及び賃借料				186,000	167,092	18,908
				負担金、補助及び交付金	負担金			55,000	54,200	800
			給食センター維持管理費					29,977,000	28,746,780	1,230,220
				需用費				12,468,000	11,243,452	1,224,548
					燃料費			4,774,000	4,183,609	590,391
					光熱水費			5,511,000	4,883,867	627,133
					修繕料			2,183,000	2,175,976	7,024
				委託料				1,303,000	1,298,128	4,872
					電気保安業務保守			119,000	118,800	200
					空調設備保守			66,000	66,000	0
					ボイラー整備点検			441,000	440,220	780
					浄化槽清掃			66,000	63,708	2,292
					廃水処理施設保守			486,000	485,100	900
					厨房機器等保守点検			125,000	124,300	700
				工事請負費	給食センター維持補修工事			737,000	737,000	0
				備品購入費	給食用備品費			15,469,000	15,468,200	800
			給食センター維持管理費 (新型コロナ対策)					12,813,000	12,812,800	200
				需用費	消耗品費			9,128,000	9,127,800	200
				備品購入費	給食用備品費			3,685,000	3,685,000	0
			公用車費(給食センター)					464,000	392,968	71,032
				需用費				147,000	108,188	38,812
					燃料費			67,000	39,685	27,315
					修繕料			80,000	68,503	11,497
				役務費				174,000	142,080	31,920
					手数料			10,000	3,400	6,600
					保険料			164,000	138,680	25,320
			公課費	自動車重量税			143,000	142,700	300	
			給食センター運営 委員会運営事業					0	0	0
				報酬				0	0	0
				旅費	費用弁償			0	0	0
			給食事業	需用費	賄材料費			122,000,000	120,174,425	1,825,575
			合 計						263,427,000	259,797,398

令和3年度 学校給食センター当初予算(決定)

(単位:千円)

歳入

款	項	目	節	細 節	前年度当初予算額	当年度当初予算額	差引額
21	諸収入	雑収入	5	雑収入	132,342	129,560	△ 2,782
			1	給食事業収入			
				現年度分	128,407	125,512	△ 2,895
				過年度分	81	81	0
				給食費(調理分)	3,854	3,967	113

歳出

款	項	目	細 目	節	細 節	前年度当初予算額	当年度当初予算額	差引額
10	教育費	6	保健体育費	3	学校給食費			
			職員人件費(給食センター)	①		25,259	24,649	△ 610
			* 給食センターに勤務する職員の人件費。	2	給 料	14,046	13,694	△ 352
			コード:457	3	職員手当等	7,089	6,872	△ 217
				4	共済費	4,124	4,083	△ 41
			給食センター事務費	②		74,853	3,886	△ 70,967
			* 調理場運営に係る調理員及び運転手の臨時賃金・需用費・役務費などの経費	1	報酬(7賃金) 会計年度任用職員報酬	1,349	1,344	△ 5
			コード:458	3	職員手当等 会計年度任用職員期末手当	108	110	2
				8	旅 費 費用弁償	73	73	0
				10	需用費	1,000	750	△ 250
					消耗品費	1,000	750	△ 250
					印刷製本費	0	0	0
				11	役務費	1,185	1,163	△ 22
					通信運搬費	164	166	2
					手数料	1,021	997	△ 24
				12	委託料	70,970	220	△ 70,750
				13	使用料及び賃借料	186	186	0
				18	負担金、補助金	55	40	△ 15
			給食センター維持管理費	③		30,012	13,183	△ 16,829
			* 調理場運営に係る燃料費・光熱水費・修繕料及び委託料などの通常経費	10	需用費	12,200	11,652	△ 548
			コード:459		燃料費	5,000	4,752	△ 248
					光熱水費	5,700	5,700	0
					修繕料	1,500	1,200	△ 300
				12	委託料	1,319	1,531	212
					電気保安業務	119	144	25
					空調設備	66	66	0
					ボイラー整備	441	441	0
					清掃等委託	0	0	0
					浄化槽清掃	66	66	0
					廃水処理施設	502	502	0
					厨房機器等保守	125	312	187
				14	工事請負費	0	0	0
				17	備品購入費	16,493	0	△ 16,493
			公用車費(給食センター)	④		464	461	△ 3
			* 給食配送車等に係る維持管理経費	10	需用費	147	142	△ 5
			コード:460		燃料費	67	62	△ 5
					修繕料	80	80	0
				11	役務費	174	174	0
					手数料	10	10	0
					保険料	164	164	0
				26	公課費	143	145	2
			給食センター運営委員会	⑤		20	0	△ 20
			運営事業	1	報酬	15	0	△ 15
			コード:461	8	旅 費	5	0	△ 5
			給食事業	⑥		139,976	205,734	65,758
			コード:462	1	報酬	0	60	60
				8	旅 費	0	17	17
				10	需用費	139,976	134,927	△ 5,049
					賄材料費			
				12	委託料	0	70,730	70,730
					調理及び配送業務			
合	計					270,584	247,913	△ 22,671

令和 2 年度 鴨川市教育行政評価報告書（案）

学校給食センター

## I. 学校教育

### 【基本目標】

### 0歳から15歳までの連続性のある学び・育ちを重視した教育の推進

生まれてから15歳までの鴨川市の子ども達の発達の特徴を理解し、一人ひとりの健やかな成長と豊かに生きる力を身につけることのできる一貫した教育を、鴨川市の保幼小中一貫教育として重点的に推進します。併せて、これからの生き抜く力の基礎を確立するため、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育や男女共同参画の視点にたった教育をはじめ、国際化に対応できる能力を養うグローバル教育、たくましい心身の育成、ふるさとや人を思いやる心を育む教育に重点を置いた学校教育の推進を図ります。

### I-2. 学校教育環境の整備充実 ◎…成果 ◆…課題

事業概要	<p>(1) 学校施設設備と教育機器の整備                  ①長寿命化や大規模改修への対応 ②魅力ある学校づくりに向けた設備の拡充                  ③バリアフリー化の推進</p> <p>(2) ICTを活用した情報教育への対応                  ①ICT機器の導入</p> <p>(3) 教員の意識改革と指導力の向上                  ①研修の充実と自主的研究活動の促進</p> <p>(4) 信頼される学校づくりの推進                  ①学校評議員制度の実施 ②学校規模・クラス規模の適正化 ③開かれた学校づくり</p> <p>(5) 学校給食の充実                  ①施設・設備の充実 ②民間委託の推進 ③学校や家庭との連携 ④地産地消の推進</p>
平成28年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安房東中学校武道場及び田原小学校施設改修</li> <li>・タブレットPC等を活用した授業検証による教員の指導力向上</li> <li>・ICT機器導入に向けた環境整備と計画案の策定</li> <li>・学校給食の調理・配送業務等委託に向けた情報収集</li> </ul> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安房東中学校武道場非構造部材等改修工事及び田原小学校施設改修工事</li> <li>・田原小学校、安房東中学校にてタブレットPC等を活用した授業公開の開催</li> <li>・ICT環境整備に向けた各種機器の検証及びPC回線の改修工事の実施</li> <li>・県内の市町（39団体）を対象に給食調理・配送業務等の委託状況調査の実施</li> </ul> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎安房東中学校武道場の天井部分の整備、田原小学校校舎の洋式トイレが整備できた。</li> <li>◎タブレットPCを活用した授業を展開したことにより、ICT機器を活用した授業形態に対する教員の意欲向上につながった。</li> <li>◎市内全小中学校でタブレットPC導入に向けた環境整備が整った。</li> <li>◎県内での給食調理・配送業務等の委託状況を把握した。</li> <li>◆鴨川中学校グラウンド改修の必要性が新たに浮上し、整備計画の見直しが必要となる。</li> <li>◆教員のICT機器活用能力の向上へ向けた計画的な研修計画が必要となる。</li> <li>◆各小中学校へのタブレットPCの計画的な導入が求められる。</li> <li>◆給食業務の合理化・効率化を図るため、事業計画に沿った実施が求められる。</li> </ul>
平成29年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西条小学校屋内運動場設計業務、鴨川中学校野球場補修工事</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I C T利活用推進委員会を中心とした計画的な研修の実施</li> <li>・ タブレット P Cの計画的配備</li> <li>・ 学校給食の調理・配送業務等の委託に向けた業務内容の検討</li> </ul> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西条小学校屋内運動場施設及び鴨川中学校野球場補修工事を実施した。</li> <li>・ I C T利活用推進委員会及びタブレット P C等の導入校の教員を中心とした研修を実施した。</li> <li>・ 市内 4 校（鴨川中学校、東条小学校、天津小学校、小湊小学校）へタブレットを配備した。</li> <li>・ 学校給食の調理・配送業務等の委託に向けて、業務内容、民間委託実施までのスケジュール、経済比較などを検討した。</li> </ul> <p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎西条小学校屋内運動場設計完了及び鴨川中学校野球場の整備ができた。</li> <li>◎ I C T機器の活用研修を実施することにより、機器を授業で活用する意識が高まった。</li> <li>◎校内 4 校の I C T環境整備が完了した。（2 カ年計画の内、初年度分）</li> <li>◎鴨川市学校給食センターの調理・配送業務等の民間委託に関する基本計画（案）の策定を行った。</li> <li>◆長狭中学校のテニスコート改修の早期実施</li> <li>◆タブレット P C等の未導入の小学校への I C T環境整備の実施</li> <li>◆教員の I C T機器活用能力の向上</li> <li>◆平成 30 年度の契約締結に向けて、委託業務の課題点の洗い出しが求められる。</li> </ul>
平成 30 年度	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天津小学校屋内運動場の設計業務及び西条小学校屋内運動場大規模改修工事</li> <li>・ I C T機器活用能力向上に資する研修の実施</li> <li>・ タブレット P Cの計画的配備（後期分）</li> <li>・ 若手教員の研修会の実施</li> <li>・ 学校給食の調理・配送業務等委託の契約締結</li> </ul> <p><b>【実施状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天津小学校屋内運動場の大規模改修工事に係る設計業務を実施した。</li> <li>・ I C T利活用推進委員会及びタブレット P C等の導入校の教員を中心とした研修を実施した。</li> <li>・ 市内 6 校（江見小学校、鴨川小学校、西条小学校、田原小学校、長狭小学校、長狭中学校）へタブレットを配備した。</li> <li>・ 市独自で新規採用職員の研修会や 3 市 1 町で連携した初任者研修を実施した。</li> <li>・ 学校給食センター調理及び配送業務委託契約を締結した。</li> </ul> <p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ I C T機器の活用研修を実施することにより、機器を授業で活用する意識が高まった。</li> <li>◎市内 6 校の I C T環境整備が完了した。（2 か年計画の内、最終年度分）</li> <li>◎現状の問題点を精査し、更に、学校給食センター運営委員会の意見を踏まえ、調理・配送業務委託についてプロポーザル方式で業者選定を行った。</li> <li>◆西条小学校屋内運動場の大規模改修工事は国の補助金事業として不採択であったため、平成 31 年度に事業採択された後、速やかに工事に着手する。また、天津小湊小学校屋内運動場の大規模改修工事についても国の補助金事業として採択後に実施を予定している。</li> <li>◆特別教室への I C T環境整備の実施</li> <li>◆プログラミング教育を教育課程にどう位置付けていくのか等の検討</li> <li>◆次年度より県の研修体系の変化を見ながら、市としての研修のあり方を考えていく必要がある。</li> </ul>

<p>令和元年度</p>	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西条小学校屋内運動場大規模改修工事</li> <li>・幼稚園・認定こども園、小中学校普通教室への空調の設置</li> <li>・特別教室の一部に無線LAN環境の整備を図る。</li> <li>・鴨川市の「学校における働き方改革」に関する方針の策定</li> <li>・学校や家庭と連携を図り、食育の推進を図る。</li> </ul> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西条小学校屋内運動場大規模改修工事を実施した。</li> <li>・天津小湊小学校屋内運動場大規模改修工事を実施中（明許繰越）</li> <li>・幼稚園・認定こども園、小中学校普通教室等へ空調機器を設置した。</li> <li>・学校における働き方改革推進ガイドラインを策定した。</li> <li>・栄養面に関する食指導を幼稚園、小学校、中学校、保護者等に対して実施した。</li> </ul> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎西条小学校屋内運動場の大規模改修により安全な教育環境へ改善を図った。</li> <li>◎普通教室等は冷暖房完備となり、教育環境の改善を図った。</li> <li>◎ガイドラインを策定したことにより、学校における働き方改革の方策が示され、教職員の意識の向上と在校時間の減少につながった。</li> <li>◎食指導 28 回（906 人）、給食参観 15 回、試食会 20 回（383 人）を実施した。</li> <li>◆各学校での空調の温度管理や維持管理等についての方針が必要</li> <li>◆教員の業務量自体の削減及び中学校部活動指導に係る長時間の在校時間を解決することが必要</li> </ul>
<p>令和2年度</p>	<p>《 重点取組 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天津小湊小学校屋内運動場大規模改修工事（明許繰越）</li> <li>・教育施設長寿命化計画の策定</li> <li>・GIGAスクール構想実現に向けたICT教育環境の整備検討</li> <li>・業務量削減に向けた統合型校務支援システムの導入準備</li> <li>・「学校支援地域本部事業」の一環として、市内全小中学校の学校運営協議会の導入に向けた環境整備</li> <li>・令和2年度から指定される食育指導推進拠点校を中心とした、学校や家庭との連携による食育の推進</li> </ul> <p>【実施状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天津小湊小学校屋内運動場大規模改修工事が完了した。</li> <li>・鴨川市公共施設等個別施設計画（長寿命化計画）により、学校施設の個別施設計画を策定した。</li> <li>・GIGAスクール構想実現に向け、児童生徒1人1台のタブレット端末の整備が完了した。</li> <li>・統合型校務支援システムの導入に向けて準備を進めた。</li> <li>・学校運営協議会にスムーズに移行できるように、移行に向けて検討した。</li> <li>・栄養面に関する食指導を小学校、中学校、保護者等に対して実施した。（なお、認定こども園はコロナ禍のため実施をひかえた）</li> <li>・食育指導推進拠点校（鴨川中学校）では、家庭科教科担任と栄養教諭との授業を実施した。</li> </ul> <p>【成果と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎天津小湊小学校屋内運動場の大規模改修により安全な教育環境へ改善を図った。</li> <li>◎鴨川市公共施設等個別施設計画を策定・公表したことにより関係者以外にも実情を周知することができた。</li> <li>◎1人1台のタブレット端末を基本とした学習に取り組むことができた。</li> <li>◎校務支援システム導入に係る問題について検討することができた。</li> <li>◎学校運営協議会の導入に向けて検討できた。</li> <li>◎食指導 63 回（1808 人）、給食参観 13 回を実施した。試食会はできなかったため「食育だより」を学期ごとに発行した。</li> <li>◆タブレット端末の活用に関するルールの整備を進めることが必要である。</li> </ul>

- ◆校務支援システムの運用について市内各小中学校と調整を行う必要がある。
- ◆学校評議員制度、鴨川市版学校運営協議会からの移行に伴う十分な説明を行う必要がある。
- ◆コロナ禍のため、食育指導推進拠点校での取り組みを市内の他の学校へ公開できなかった。

**【 5年間を総括した成果と課題 】**

- ◎長寿命化や大規模改修への対応は、ほぼ計画どおりに行うことができた。
- ◎屋内運動場の大規模改修工事や校舎の改修工事により、トイレの洋式化等の設備の拡充ができた。
- ◎バリアフリー化の推進として、大規模改修より天津小湊小学校の屋内運動場に多目的トイレを整備することができた。
- ◎ICT機器の整備を計画的に進め、児童生徒1人1台のタブレット端末の整備が完了し、ICT環境を充実することができた。
- ◎学校評議員制度、鴨川市版学校運営協議会の充実など、地域とともにある学校づくりを推進することができた。
- ◎学校給食業務の合理化・効率化を図るため、民間事業者のノウハウや専門性を取り入れた、調理及び配送業務の民間委託を平成30年度より3年契約で実施した。民間委託により、コスト面や衛生管理の向上、調理業務の効率化が図られていることから、今後も民間委託を継続していく。
- ◆鴨川市公共施設等個別施設計画で行った調査を基にさらに詳細な調査を行う必要があるが、改築と長寿命化の可否の両面で検討を行うとともに、全国的な課題となっている便器の洋式化、床の乾式化、蛇口の自動水洗化、バリアフリー化等のトイレ改修も含め、計画的に学校施設の整備を進めていく。
- ◆ICT機器の有効な活用など、今後も研修を進めていく必要がある。
- ◆地域に開かれた学校づくりのため、今後も学校運営協議会の導入・運用など地域との連携を教化していく必要がある。
- ◆令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の対応により、実施可能な食育活動を厳選して行った。今後も、感染症対策を第一に据え、養護教諭と連携を図りながら可能な食育活動を実施する。
- ◆給食施設設備全体の劣化状況を見ながら、設備等の更新を順次実施し、子どもたちの食の安全安心を守っていく。
- ◆各学校や家庭と連携を図り、より望ましい学校給食のあり方の検討や食育指導を実施しており、引き続きこれまでの取り組みを承継し、関係者の意見交換や食に関する知見を得る機会を確保して、保護者等の理解を得ながら、より安全安心な給食提供に努める。
- ◆生産者との連携により、学校給食に旬の食材等を取り入れた地場産品の活用に努めたが、引き続き米を中心とした鴨川産食材の給食への利用を進め、給食を生きた教材として、児童生徒の郷土への関心・愛着を高めていく。

## 書面決議書

学校給食センター運営委員会  
事務局 様

お名前： \_\_\_\_\_

令和3年度学校給食センター運営委員会における決議事項について、下記のとおり回答します。

### 1 報告

報告1 令和3年度学校給食センターの概要及び業務計画について

ご意見欄

報告2 令和2年度学校給食センター決算及び令和3年度予算について

ご意見欄

### 2 議題 (します・しません)いずれかに○をして意見がある場合はご記入下さい。

(1) 令和2年度教育行政評価報告書(案)について

①令和2年度《重点取組》について

事務局案『新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の対応により、実施可能な食育活動を厳選して行ったことについては一定の評価をするとともに、今後も感染症対策を第一に、可能な範囲で食育活動の実施を要望する。』

同意 (します・しません)

②鴨川市教育振興計画の【5年間を総括した成果と課題】について

事務局案『調理及び配送業務民間委託を実施したことから、コスト面や衛生管理が向上し、調理業務の効率化が図られたことを評価する。今後も引き続き民間委託の継続を要望する。』

同意 (します・しません)

ご意見欄